

# 試される

# 3R社会

6

原油価格の高騰と地球温暖化対策の一環としてバイオマス燃料が注目を集めている中、木質チップの需要が急増している。更に、国産バイオエタノールの原料としても木質バイオマスが着目されており、今後更なる需要増が予想されている。一方、建設発生木材や製材残材などの木質資源はその多くがリサイクルされており、既に原料確保が困難になりつつある。そこで、全国木材資源リサイクル協会連合会の彦坂武功理事長に、木質資源リサイクルの現状と今後の展望を聞いた。

(彦坂 智博)

解体・処理制限の撤廃でリサイクル促進

木質チップの需要が急増しているが、「国の主導により、バイオマス利活用の推進が急速に推し進められている中、利用しやすい木質チップが注目を集めている。現在、木質チップは建設発生木材や製材端材など全体で年間一七〇〇

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について



万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

では五〇〇万トのうち再資源化されていない三資源化量は三五〇万ト(六八％)となっているが、現在急速に利用が進んでおり、連合会としても二〇〇％再資源化という意気込みで取り組みを進めている。一般廃棄物の焼パレットや剪定枝も三〇〇万トのうち二五〇万ト(約五〇％)と半数に達している一方、林地残材は四〇〇万ト中五〇万トと低迷している。しかし、これらの再資源化が必須となる。木質資源の需要増には追いつかないため、原料確保に向けた新たな取り組みが必要になる。

建設発生木材の利便促進ではどのような対策を考えているのか。「建設発生木材の中で

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

再資源化されていない三資源の内訳を見ると、単純焼却が二〇％強で最終処分が一〇％強となっている。原料の品質によってリサイクルの用途は限られてくるが、マテリアルリサイクルやエネルギー回収が可能ならば、これらを徹底して進めていく。

また、廃棄物処理法で処理能力五七以上の破砕機は四〇〇万ト中五〇万トと低迷している。しかし、これらの再資源化が必須となる。木質資源の需要増には追いつかないため、原料確保に向けた新たな取り組みが必要になる。

建設発生木材の利便促進ではどのような対策を考えているのか。「建設発生木材の中で

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

万ト発生しているが、そのうち二〇〇〇万トが再資源化されている。特に、製材系残材は五〇〇万トのうち九〇％が再資源化されている。また、建設発生木材についても、建設発生木材について

## 木質チップ確保へ森林整備を

「木質チップの利用は、まずマテリアルリサイクルが基本となる。ボードなど建設用資材として利用した後も燃料用として使うことができるので、そうした多段階型の利用体制を構築していく必要がある。また、森林産業の復活に向けて北欧のように地域ぐるみで林業に取り組んでいくことも重要だ。林業を中心としたバイオマスタウンが構築できれば、木質資源の確保だけでなく、美しい日本の原風景をよみがえらせることができ、雇用の増加に伴う地域経済の活性化も期待できる。すぐに利益にも結び付く事業ではないが、将来を考えると第一歩を踏み出す時期は差しかかっているのではないだろうか」

「木質チップの利用は、まずマテリアルリサイクルが基本となる。ボードなど建設用資材として利用した後も燃料用として使うことができるので、そうした多段階型の利用体制を構築していく必要がある。また、森林産業の復活に向けて北欧のように地域ぐるみで林業に取り組んでいくことも重要だ。林業を中心としたバイオマスタウンが構築できれば、木質資源の確保だけでなく、美しい日本の原風景をよみがえらせることができ、雇用の増加に伴う地域経済の活性化も期待できる。すぐに利益にも結び付く事業ではないが、将来を考えると第一歩を踏み出す時期は差しかかっているのではないだろうか」

「木質チップの利用は、まずマテリアルリサイクルが基本となる。ボードなど建設用資材として利用した後も燃料用として使うことができるので、そうした多段階型の利用体制を構築していく必要がある。また、森林産業の復活に向けて北欧のように地域ぐるみで林業に取り組んでいくことも重要だ。林業を中心としたバイオマスタウンが構築できれば、木質資源の確保だけでなく、美しい日本の原風景をよみがえらせることができ、雇用の増加に伴う地域経済の活性化も期待できる。すぐに利益にも結び付く事業ではないが、将来を考えると第一歩を踏み出す時期は差しかかっているのではないだろうか」

全国木材資源リサイクル協会連合会理事長

### 彦坂 武功氏に聞く

林業中心のバイオマスタウン構築を

木質資源確保のため

「木質チップの利用は、まずマテリアルリサイクルが基本となる。ボードなど建設用資材として利用した後も燃料用として使うことができるので、そうした多段階型の利用体制を構築していく必要がある。また、森林産業の復活に向けて北欧のように地域ぐるみで林業に取り組んでいくことも重要だ。林業を中心としたバイオマスタウンが構築できれば、木質資源の確保だけでなく、美しい日本の原風景をよみがえらせることができ、雇用の増加に伴う地域経済の活性化も期待できる。すぐに利益にも結び付く事業ではないが、将来を考えると第一歩を踏み出す時期は差しかかっているのではないだろうか」

(C) 彦坂・たけさか